【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成27年9月24日(2015.9.24)

【公開番号】特開2015-23748(P2015-23748A)
【公開日】平成27年2月2日(2015.2.2)
【年通号数】公開・登録公報2015-007
【出願番号】特願2013-152438(P2013-152438)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｌ　11/18　(2006.01)
Ｂ６０Ｒ　16/03　(2006.01)
Ｈ０２Ｊ　7/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｌ　11/18　Ｃ
Ｂ６０Ｒ　16/02　６７０Ｖ
Ｈ０２Ｊ　7/00　３０１Ｂ
Ｈ０２Ｊ　7/00　Ｐ

【手続補正書】
【提出日】平成27年8月11日(2015.8.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車外の充電ケーブルから供給される電力を用いて車載の蓄電装置を充電する外部充電が可能な車両であって、
前記充電ケーブルと接続可能に構成されたインレットと、
前記インレットの近傍に設けられ、前記充電ケーブルを前記インレットから取り外し不能なロック状態と、前記充電ケーブルを前記インレットから取り外し可能なアンロック状態との切り替えが可能なケーブルロック機構と、
前記インレットの近傍に設けられ、ユーザの操作に応じて前記ケーブルロック機構の状態を切り替えることを要求する信号を出力するケーブルロックスイッチと、
前記インレットの近傍に設けられ、所定範囲内に存在する電子キーからの信号を受信可能なアンテナと、
前記アンテナに受信された情報に基づいて前記所定範囲内に存在する電子キーが正規のユーザのものであるという照合条件が成立しているか否かを判定する照合処理を実行可能な制御装置とを備え、
前記制御装置は、前記ケーブルロックスイッチが操作された場合、前記外部充電によって生じるノイズを抑制するノイズ抑制処理を行ない、前記ノイズ抑制処理中に前記照合処理を行ない、前記照合処理によって前記照合条件が成立していると判定された場合に前記ケーブルロック機構の状態を切り替え、
前記制御装置は、
前記ケーブルロックスイッチが操作された場合、第１の照合処理を行ない、
前記第１の照合処理によって前記照合条件が成立していると判定されたときは、前記ノイズ抑制処理を行なうことなく前記ケーブルロック機構の状態を切り替え、
前記第１の照合処理によって前記照合条件が成立していないと判定されたときは、前記ノイズ抑制処理を行ない、前記ノイズ抑制処理中に第２の照合処理を行ない、前記第２の

照合処理によって前記照合条件が成立していると判定されたときは前記ケーブルロック機構の状態を切り替え、前記第２の照合処理によって前記照合条件が成立していないと判定されたときは前記ケーブルロック機構の状態を切り替えない、車両。

【請求項２】

前記ノイズ抑制処理は、前記充電ケーブルから供給される電流を低減することによって、前記充電ケーブルと前記車両との間の電力線から生じるノイズを抑制する処理である、請求項１に記載の車両。

【請求項３】

前記車両は、前記インレットと前記蓄電装置との間に設けられた充電器をさらに備え、

前記ノイズ抑制処理は、前記充電器を制御することによって前記充電ケーブルから供給される電流を低減する処理を含む、請求項２に記載の車両。

【請求項４】

前記充電ケーブル内の電力線上には、前記制御装置によって開閉可能なリレーが備えられ、

前記ノイズ抑制処理は、前記充電ケーブル内の前記リレーを開くように制御することによって前記充電ケーブルと前記車両との間に電流が流れないようにする処理を含む、請求項２に記載の車両。

【請求項５】

前記充電ケーブル内には、前記制御装置によって発振状態または非発振状態に切り替えられるパイロット信号を前記制御装置に出力する発振回路が備えられ、

前記ノイズ抑制処理は、前記充電ケーブル内の前記発振回路から制御信号線を介して入力される前記パイロット信号を非発振状態にすることによって、前記制御信号線から生じるノイズを抑制する処理である、請求項１に記載の車両。